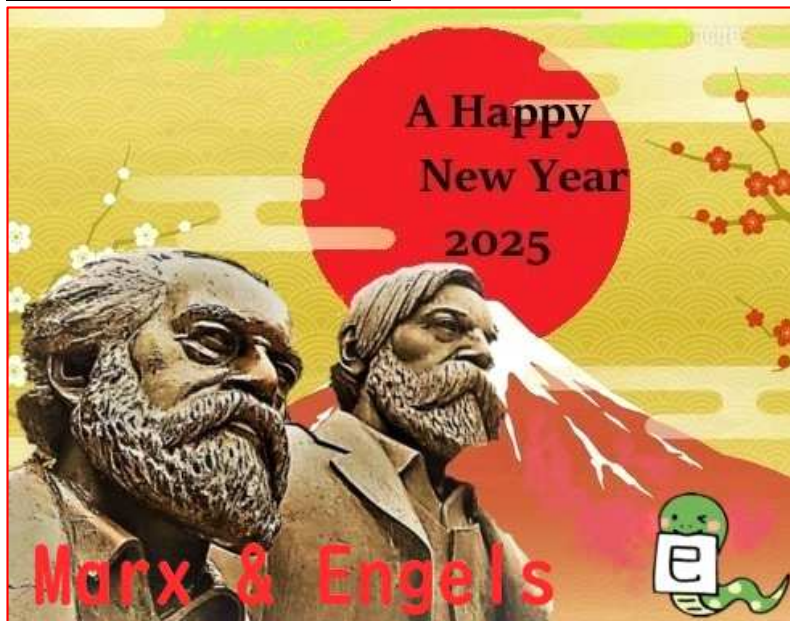




- 1月29日（水曜日）
- 午後6時30分から—Zoomで開催

資本論(v2)第1章第3節「第三段階。W'-G'」 [岩波文庫(四)p60-]。

資本論第2巻の本文、第1篇「資本の諸変態」第1章「貨幣資本の循環」に入りました。

今回（12.25クリスマスの日）のレポートはKaiさん、参加者は年末行事での欠席もありましたが9名が集いました。本文は、これまでとチョット雰囲気が変わって、少し「理屈っぽい」(ナーンて書くと怒られそうですが…)理論的な叙述が淡々と展開されています。

でも「えッ!既視感一杯」のあの定式「 $G-W-G'$ 」が登場。そうです第1巻第4章第1節「資本の一般定式」の復習みたいなものでした（と-書くと、また「読み込みが浅い」と怒られそうですが…）。ただし新しく「 $G-W \cdots P \cdots W' - G'$ 」とP(生産過程)が入ってきました。他にもP_m(生産手段)やA(労働力)の入る定式が出てきます（内容は下記「レポーターから」を参照）。でも基礎勉強を思い起こせば、何とか分かる範囲だったように思います。内容上の議論にはなりませんでしたが(議論できなかった?)。

資本の循環で、式の中で出てくるGゲーはGeld貨幣、WヴェーはWare商品、AアーがArbeitskraft労働力などのドイツ語ですが、私たちの「読む会」では「(面倒だから)数式はみんな英語アルファベット読みで行こう」ということにしました(これで良いのか分かりませんが)。

学習会後の懇親会は、やはり総選挙総括に絡んでの話題が中心になったように思います。いつもどおり、とりとめもなく議論が続き、適当に解散となりました。次回のレポーターはTakちゃんです。よろしくお願いしますネ。

今からでも一緒に読んでみたいという方は、近くの誰かに連絡ください。歓迎します。

☆「資本論を読む会」の最初からの資料は下記ホームページでご覧になれます。

◎ <http://socialistho.cafe.coocan.jp/>「資本論を読む会」オープン・コーナーにあります。

レポーターから-Kai

資本論 第二巻 資本の流通過程

第一編 資本の諸変態とそれらの循環

第一章 貨幣資本の循環

・資本の循環過程は三つの段階をなす。

・第一段階。資本家は商品市場と労働市場で買い手。貨幣は商品へ。流通行為 $G-W$

・第二段階。資本家の購入商品の生産的消費。資本の生産過程。生産諸要素の価値以上の価値をもつ商品を生産。

・第三段階。資本家は、売り手として、市場へ。商品は貨幣へ換えられる。流通行為 $W-G$

* 貨幣資本の循環を示す定式

$$G-W \cdots P \cdots W' - G'$$

・点線は流通過程が中断されていることを示す。

・ W' と G' は、剰余価値によって増大した G と W を表す。

第一節 第一段階。 $G-W$

* 資本の循環は、流通行為 $G-W$ 、貨幣の商品への転化、買いをもって始まる。

* $G-W(P_m + A)$: 貨幣資本 = 貨幣(G)で商品(W)を買う。

それは生産手段(P_m)と労働力(A)である。

第二節 第二段階。生産資本の機能

* 資本の循環は、流通行為 $G-W$ 、貨幣の商品への転化、買いをもって始まるが、

* $G-W(P_m + A)$ の直接の結果は、貨幣形態で前貸しされた資本価値の流通の中断である。

* そして、流通は、反対の変態、 $W-G$ 、商品の貨幣への転化、売りによって補足されねばならない。